

宜野湾市史第一巻通史編

目次

口 絵	
発刊に際し	
宜野湾市教育委員会教育長 花 城 清 英	
発刊によせて	
宜野湾市史編集委員会委員長 普 天 間 朝 英	
目 次	
凡 例	
序 章 歴史形成の舞台―宜野湾市の地理	
第一節 亜熱帯の自然環境	3
1 位置と面積	3
2 地質―地層と大山洞人の渡来	3
3 地形―サンゴ礁から海岸段丘へ	6
4 亜熱帯の気候	14
5 亜熱帯の四季	16
6 台風と干ばつ	18
第二節 カー（湧泉）とカー（井戸）	20
1 カー	20
2 簡易水道から上水道へ	24
第三節 土地利用の変化	27
1 戦前の土地利用	27
2 戦後、復帰前の土地利用	29

第1章 考古学からみた宜野湾

第一節 総論……………35

- 1 沖縄考古学の現状……………35
- 2 東アジア世界の中の「琉球―沖縄」……………39
- 3 宜野湾市の考古学調査……………47

第二節 人類の発生と琉球列島への渡来……………60

- 1 琉球列島の化石人類……………60
- 2 人類の発生と琉球列島への渡来……………66

第三節 縄文時代相当の宜野湾……………72

- 1 採集社会の集落と暮らし……………72
- 2 狩りと漁撈、植物採取……………82
- 3 死者の吊い……………86
- 4 本土縄文文化との交流……………96

第四節 弥生―平安時代相当の宜野湾……………98

- 9 博多に居留する宋商人……………124
- 10 国内商人・八郎真人と琉球……………125
- 11 石鍋と亀焼……………126
- 12 亀焼を売る商人……………128
- 13 グスク文化の形成……………129
- 14 漁労民から農耕民へ……………131
- 15 グスク文化形成期の宜野湾
―真栄原アガリイサガマ遺跡・喜友名山川原
第六遺跡・真志喜石川第一遺跡……………133

第二節 農業集落の形成……………134

- 1 グスク時代の農業……………134
- 2 朝鮮漂流民がみた十五世紀の農耕技術……………135
- 3 堀棒耕作……………136
- 4 琉球独特の冬作システム農業……………137
- 5 農業技術と集落立地……………138
- 6 宜野湾の地形と農業集落……………140
- 7 グスク時代の畑跡―タマタ原遺跡……………142
- 8 穀倉のある集落―真志喜石川第一遺跡……………143

- 1 集落と貝塚……………98
- 2 サンゴ礁の世界……………105
- 3 本土弥生社会と貝の道……………107
- 4 開元通宝と律令国家……………109
- 5 フェンサ下層式土器……………111

第2章 古琉球の宜野湾

第一節 東アジアの海外交易の展開 と古琉球世界の形成……………117

- 1 隋・唐帝国と大和国家・南島……………117
- 2 遣唐使派遣と南島路……………118
- 3 『日本書紀』・『続日本紀』からみた南島経営……………119
- 4 大和国家へ朝貢する南島の島々……………119
- 5 中国から見た七世紀の琉球……………121
- 6 真志喜大川原第一遺跡出土の開元通宝……………121
- 7 南島経営と先島……………122
- 8 宋の建国と海外交易の活発化……………123

9 伊佐前原遺跡の高倉……………146

第三節 大型グスクと寨官の時代……………147

- 1 武装し戦う農業集落
―喜友名山川原第六遺跡……………147
- 2 グスク論争
―グスクは城か聖域か防衛集落か……………149
- 3 聖域説と防衛集落説……………150
- 4 グスクの変遷……………152
- 5 防衛を意識した集落の出現
―野嵩ウガンヌカタ遺跡・宜野湾クシヌウタ
キ遺跡・我如古遺跡……………153
- 6 城塞的グスクの出現……………154
- 7 宜野湾の城塞的グスク
―嘉数遺跡・喜友名グスク・大謝名黄金森グ
スク……………155
- 8 小型グスクから大型グスクへ……………157
- 9 朝鮮漂流民が見た大型グスク……………159
- 10 大型グスクの城主―寨官……………160

11	テダII太陽と畏敬された秦官	161
12	貿易の富を分配する秦官	162
13	三山の成立と秦官	163
14	謝名村に生まれた中山王察度	163
15	察度王伝説の舞台―真志喜森川原遺跡	165
16	察度王の業績	167

第四節 古琉球王国の時代

1	第一尚氏の登場と三山統一	168
2	なぜ第一尚氏は中山政権を奪うことができたか	169
3	第一尚氏の経済基盤―水稲二期作の発展	170
4	水稲二期作地帯の佐敷と非二期作地帯の宜野湾	172
5	中城湾岸地帯の発展	175
6	第二尚氏の登場	177
7	尚真王の時代	177
8	古琉球の終焉	179

5	本部・美里間切の新設	208
6	宜野湾間切の成立―第二の間切分割	212
7	一六七三(康熙十二)年の間切再編	215

第二節 宜野湾間切の設立と行政機構

1	間切の行政組織と役人たち	223
2	間切と地頭	227

第三節 宜野湾間切の社会生活

1	土地制度	233
2	農業と住民生活	237
3	普天間参詣	246

第四節 近世末期の宜野湾

1	疲弊化する住民生活	248
2	検者・下知役の地域振興	249
3	借金証文と宜野湾	251
4	欧米船の来航	255

第五節 宜野湾の村落と地域の形成

1	古琉球の宜野湾	181
2	近世の村の原型	182
3	グスク時代の集落の人口	183
4	地域共同体の成立	185
5	群れをなす集落 ―嘉数村・喜友名村・真志喜村の 原初集落群	186
6	浦添群のなかの宜野湾	187
7	集落群の統合原理	189

第3章 近世の宜野湾

第一節 近世への転換

1	沖縄の近世―島津侵入	193
2	王府の地方支配の変化	197
3	間切の再編と新設	199
4	間切分割の背景	200

第4章 近代の宜野湾

第一節 総説

1	幕末維新期の琉球	261
2	初期県政と宜野湾	261
3	大正・昭和期の「シルークルーの争い」	262
4	「融和」の時期と戦争への道	263

第二節 近代初期の宜野湾

1	「琉球処分」とは何であったか	264
2	分島問題と「旧慣温存」政策	265
3	宜野湾を訪れた上杉県令と 岩村会計検査院長	267
4	間切の行政組織	269
5	人口の増加と士族の割合	272
第三節 土地整理と日露戦争前後の社会	274	
1	土地整理への道程	274

2	地方制度の改革	276
3	土地整理事業	280
4	土地整理と宜野湾	282
5	政争と地方改良運動	284
6	徴兵令と宜野湾	286

第四節 宜野湾における近代教育

1	琉球処分前の教育	289
2	明治の教育	290
3	大正期の教育	296
4	昭和前期の教育	300
5	社会教育	304

第五節 大正～昭和初期の宜野湾

1	国家主義・軍国主義の時代	307
2	桃原村長の「選挙干渉事件」	308
3	大正～昭和初期の政争	309
4	道路の整備と県営鉄道嘉手納線	316

第三節	沖縄戦の終結	378
-----	--------	-----

第6章 現在の宜野湾

第一節 戦後の海外引き揚げ

1	ふるさとに帰る	385
2	つかれたる心いだきて足重く	386
3	本土の引揚援護局からの帰還	388

第二節 終戦直後の宜野湾

1	終戦直後の宜野湾概況	390
2	一大難民収容所の野嵩部落	394
3	元居住地への移動	396
4	住まいと台風	399
5	米兵の夜襲に備えた自警団	400

第三節 宜野湾市と基地

1	基地建設の始まり	403
---	----------	-----

第六節	移民	321
1	ハワイおよび南米への移民	321
2	フィリピンへの移民	330
3	南洋群島への移民	334

第5章 沖縄戦と宜野湾

第一節 戦時体制と総動員

1	中国大陸への侵略	345
2	総動員体制	347

第二節 日米最後の戦闘・沖縄戦

1	太平洋戦争―勝利と敗退―	354
2	十月十日の大空襲	358
3	第三軍の配備と沖縄戦	360
4	根こそぎ動員と疎開計画	364
5	沖縄戦―地獄の戦場―	369
6	宜野湾村民の戦場体験	376

2	宜野湾市の基地とその性格	404
3	復帰後の動向	405

第四節 宜野湾における土地闘争

1	問題の発生	411
2	土地接收前・後の住民生活	415
3	補償交渉とその帰結	417
4	土地闘争の本格化	420
5	米軍の第一次実力行使	423
6	米軍の第二次武力出動に至る経緯	426
7	米軍の第二次武力出動前夜	430
8	新聞報道にみる米軍の第二次武力出動予定当日	432
9	米軍の第二次武力出動 ―七月十九日、二十日のルポ―	434
10	強制接收後の生活実態とブラジル移民	435

第五節 祖国復帰と世替わり

1	武力なき異民族支配からの脱却	438
---	----------------	-----

2	占領行政の開始と日本復帰運動の萌芽	439
3	占領初期の日本復帰志向	441
4	占領初期の日本復帰運動	443
5	初期の日本復帰運動への弾圧	445
6	形を変えた日本復帰運動	447
7	沖縄県祖国復帰協議会の結成	449
8	日本本土と連帯した本格的日本復帰運動	453
9	米軍の支配構造を揺るがす闘争	455
10	即時無条件全面返還運動と日本復帰の実現	457

第六節 歴代首長の施策と行政の主な動き		
1	復興期から市昇格までの施策	462
2	市昇格から復帰までの施策	466
3	復帰後から現在までの施策	472

第七節 議会・選挙		
1	宜野湾市の議会と選挙	482
2	復興期から市昇格まで	483
3	市昇格後の選挙	485

4	復帰後の選挙	486
---	--------	-----

第八節 財政		
1	村財政の復活	489
2	復興期の村財政	491
3	過渡期の村財政	505
4	激動期の市財政	506
5	画一化の中の市財政	508

第九節 産業・経済		
1	人口と産業構成	515
2	農業・畜産業	516
3	事業所	523
4	工業	527
5	商業	529
6	基地と経済	531

第十節 宜野湾の戦後教育		
1	戦後の学校再開	538

21	「教公二法」阻止闘争	553
22	大謝名小学校の設立	554
23	志真志小学校の創立	555
24	宜野湾高等学校の創立	555
25	真志喜中学校の創立	555
26	宜野湾中学校	556
27	体育・スポーツ	556
28	社会教育	559

宜野湾歴史年表		
		567

宜野湾市史編集委員会 編集後記		
		553